

## シールドプラグ穿孔部の調査について

2021年9月14日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス

シールドプラグの汚染状況を把握することは、事故解明の観点や廃炉工程への影響を把握する観点から重要であり、今後も原子力規制庁殿と協力しつつ調査を進めてまいりたい。

### ■ 事故解明の観点

- ✓ 1F事故時にPCVから放出されたFPの、シールドプラグへの付着と環境への放出量の関係性の評価に活用する。

### ■ 廃炉工程への影響の観点

- ✓ プール燃料取り出しにおいては、シールドプラグ上は散乱線の影響が大きく遮蔽設置が有効であると確認できたことから、現計画に従い着脱可能な遮蔽を設置し環境改善を図る。
- ✓ デブリ取り出しの今後の工法検討においては、シールドプラグに高汚染部があることを前提に検討を進めていく。

### ■ 今後の調査計画

- ✓ 9/9の調査は、既存の穿孔箇所を用いた調査であり、当該穿孔箇所には放射能を含んだ埃が蓄積していたことから、測定の確度を高める観点で新規穿孔を行い、同様の調査を行う。